

関係機関長 様

高知県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について

病虫害発生予察注意報第2号を送付します。

平成19年度病虫害発生予察注意報第2号

平成19年10月3日

高知県病虫害防除所

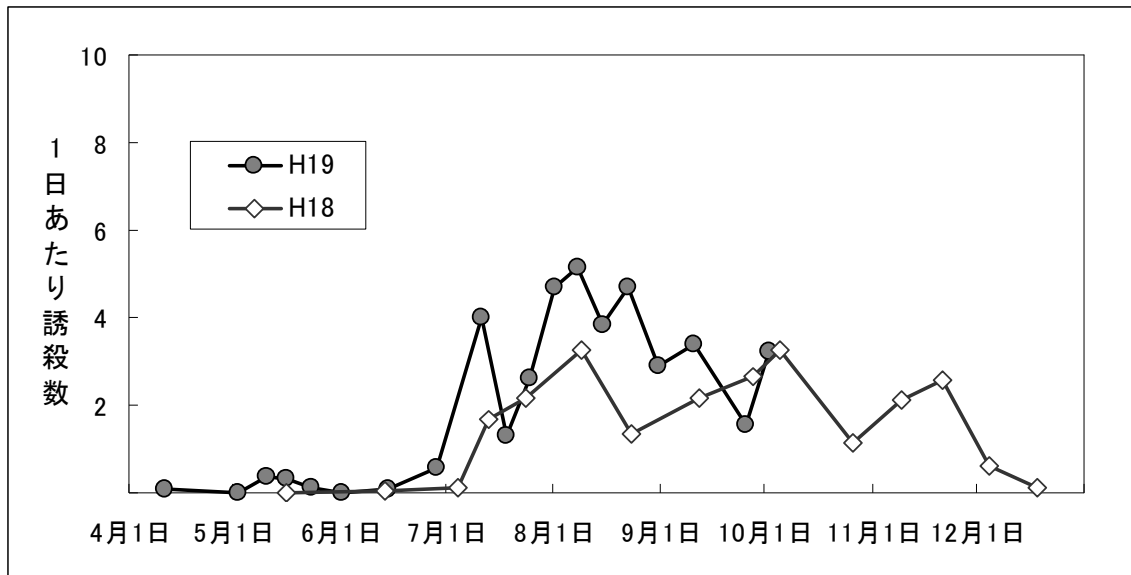
病虫害名 タバココナジラミ

- 対象作物：ナス、ピーマン・シシトウ、トマト（施設栽培）
- 発生地域：県内全域
- 発生時期：9月中旬以降
- 発生程度：多
- 注意報発令の根拠
 - 9月4～5半旬に実施した巡回調査では、県東部～中西部の促成ナス、ピーマン（定植～収穫期）での本虫の発生は平年を大きく上まわっており、寄生株率も高い（表）。また、聞き取り調査などでも、施設果菜類全般で育苗から定植期にかけて発生が目立つという報告が寄せられている。
 - 南国市における黄色粘着板によるコナジラミ類の誘殺数調査では、前年に比べ高い水準で推移している（図）。
 - 天敵導入を行うハウスでは天敵導入後は薬剤防除が制限されることから、今後さらに密度が上昇するおそれがある。
 - トマトでは本虫が媒介する黄化葉巻病（TYLCV）が発生しており、また、ピーマン・シシトウでは本虫の寄生によって果実の白化（退色化）症状が生じる場合があることから、本虫の拡大による被害発生が懸念される。
 - 向こう一ヶ月の気象予報では、平年より気温が高く、日照時間も多い見込みであることから、今後も発生の増加が予想される。
- 防除対策
 - 育苗期からの薬剤防除などにより苗からの本圃への持込を防ぐとともに、定植時の薬剤処理など低密度時からの防除を徹底する。なお、薬剤抵抗性発達回避のため同一系統の剤の連用は避ける。
 - 施設開口部への防虫ネット（1mm目以下）被覆、ほ場周辺の除草（播種、定植前から実施）、可能な作物での近紫外線カットフィルムや黄色粘着シートの利用など成虫の侵入防止と密度低下に努める。

表：促成ナス、ピーマンでのタバココナジラミの発生状況（平成19年9月）

		促成ナス			促成ピーマン		
		発生面積(ha)	発生面積率(%)	寄生株率(%)	発生面積(ha)	発生面積率(%)	寄生株率(%)
東 部	本年	119.1	(41.6)	29.1	17.5	(62.5)	11.5
	平年	73.8	(25.8)	8.3	9.1	(32.5)	3.0
中央部	本年	48.0	(100.0)	29.3	65.8	(83.3)	11.0
	平年	32.0	(66.7)	18.4	14.2	(18.0)	2.9
中西部	本年	—	—	—	11.4	(60.0)	4.4
	平年	—	—	—	1.8	(9.5)	1.4

ナス栽培面積：東部286ha、中央部48ha ピーマン栽培面積：東部28ha、中央部79ha、中西部19ha



図：黄色粘着板によるコナジラミ類の1日あたり誘殺数の推移（南国市）